

みんぱく 映画会



三陸の大津波を生き抜いた神楽の物語

まわ

# 廻り神楽

かぐら

KAGURA TROUPE ON THE BEAT

2020年2月11日(火・祝)

時 間= 13時30分 — 16時(開場13時)

場 所= 国立民族学博物館 講堂

参加費= 無料・要展示観覧券

定 員= 450名・事前申込不要

※参加券を11:00から本館1階案内所前にて配布します。

※トークセッションに手話通訳が必要な方は、1月21日(火)までにメールまたはFAXでご連絡ください。

主 催= 国立民族学博物館



みんなく映画会

# 廻り神楽

みんなくがこれまで継続してきた「被災地における無形文化遺産の支援活動」の一環として、

遠藤協・大澤未来共同監督作品「廻り神楽」

の上映会を企画します。

両監督は、二〇一二年から岩手県宮古市の

「震災の記憶伝承事業」に参加し、被災地に

通いはじめ、本作品を制作しました。

なお、上映会では、遠藤氏と神田より子氏を

お招きし、トークセッションをあわせて

開催します。



## KAGURA TROUPE ON THE BEAT

### 上映作品「廻り神楽」

■監督:遠藤 協、大澤 未来 ■プロデューサー:遠藤 協  
■製作・配給:ヴィジュアルフォークロア 2017年/日本/94分

東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県三陸海岸を舞台に、大津波を生き抜いた神楽と、この地に暮らす人びとの生活のベースにある力強さを描いたドキュメンタリー。三陸沿岸150キロにおよぶ地域の人びとの人生に寄り添いながら、神々や精霊が息づくこの地を340年以上にわたり神の使いとなって巡行の旅をつづけている黒森神楽。

大津波を生き抜いた神楽衆が以前と同じように海辺を巡りはじめる。奏でる音色が死者を鎮魂し、海に生きる者の心を支える神楽衆と、海と向き合いながらこの地に住み続ける人びとの日常が描かれる。第73回毎日映画コンクール ドキュメンタリー映画賞受賞作品。



[司会] 林 勲男 (国立民族学博物館 教授)

[トークセッション] 遠藤 協 (共同監督/プロデューサー)

1980年生まれ。茨城県出身。大学で日本民俗学や文化人類学を学んだあと、映画美術学校ドキュメンタリーコースを修了。全国各地の民俗文化を取り上げたドキュメンタリー映画、テレビ番組、教育映像等の企画・演出に携わる。2012年から岩手県宮古市の「震災の記憶伝承事業」に参加し被災地に通いはじめる。近作に「落合西光寺双盤念仏」「西久保観世音の鉦はり」(ともに地域映像コンクール奨励賞)、「むらのしばいごや 加子母明治浴殿耐震改修工事の一年」(「地方の時代」映像祭優秀賞)など多数。

神田 より子 (敬和学園大学 名誉教授)

埼玉県出身。博士(社会学、慶應義塾大学、1999年)。民俗芸能と修験道の研究に従事し、女性と芸能と宗教をテーマとして日本各地で調査を行う。2018年に教授として長年勤務した敬和学園大学を退職し、同大学名誉教授。著書に「神子の家の女たち」(1992年)、「神子と修験の宗教民俗学的研究」(2001年)、「鳥海山修験 山麓の生活と信仰」(2018年)、編著として「陸中沿岸地方の廻り神楽報告書」(1999年)など多数。また、「東日本大震災宮古市の記録」第1巻・第2巻の編集委員長を務める。

- プログラム
- 挨拶と紹介
  - 作品上映 ※字幕は付きません
  - トークセッション
- イベント詳細URL | <http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/movies2002>

展示のご案内

[コレクション展示]

「朝枝利男の見たガラバゴス——1930年代の博物学調査と展示」

会期: 2020年1月16日(木)~3月24日(火)

場所: 国立民族学博物館 本館企画展示場の一部

国立民族学博物館 National Museum of Ethnology 〒565-9511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 企画課博物館事業係 Tel: 06-6878-8210 Fax: 06-6878-8242 Email: hijgyo@minpaku.ac.jp

- 開館時間 ..... 10:00~17:00(入館は16:30まで) ●休館日 ..... 水曜日、年末年始(12月28日~1月4日)
- 観覧料 ..... 一般580円/大学生250円/高校生以下 無料 ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール ... 「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩約15分
- バス ..... 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車 ..... 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分 ※「日本庭園前ゲート」前にある当館専用通行口をお通ください。

※大学生・一般の方は自然文化園(中央口、西口、北口)窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。 ※高校生以下の方が自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園(中央口、西口、北口)有人窓口で、みんなへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。 ※車からからは、自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。 ※自然文化園(有料区域)をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

